

くびきの創信

「創信」とは地域の皆さんと新しい上越を創(つく)り、情報を発信していくという意味の造語です。

新潟県上越地域振興局
上越市本城町5-6
TEL025-526-9326
FAX025-524-5914
E-mail
ngt111910@pref.niigata.lg.jp
URL
http://www.pref.niigata.lg.jp/jouetsu/

県(上越地域振興局)からのお知らせ

毎週火曜日掲載

新潟県こころの相談ダイヤル

毎日24時間受付

ナビダイヤル - なやみ - なし にいがた
0570-783-025

ひとりで悩まないで、ご相談ください。

地下水の節水にご協力ください

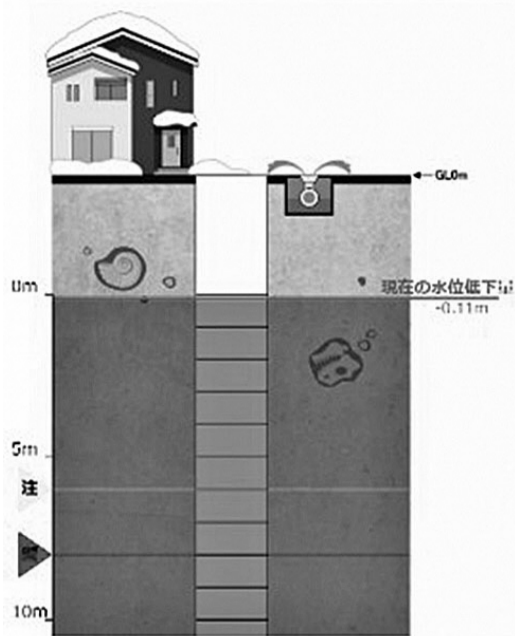
▼地盤沈下の現状
上越地域では、冬季の消費に大量の地下水を使うため、地盤沈下

下が進行しています。特に、高田市街地を中心に平野部の広範囲で沈下がみられています。

令和2年度の大雪の後には、一年間で3cm以上沈下した地点もありました。

雪が降っていない時間には、ポンプを止めるなど、節水にご

ホームページで確認できる地下水位の図



「新潟県こむすび定期」申請受付中!

子育ての経済的負担軽減のため、10万円分の定期預金を差し上げます。全世帯の子ども

誕生を社会全体でお祝いし、官民挙げて子育て世帯を応援します。申請期限は1歳の誕生日の前日までとなります。忘れずにお申し込みください。

【支給対象】令和5年4月1日以降に生まれた子どもで、申請時点で本県に住所を有する1歳未満の子(県外からの転入者も含む)

【支給額】2年定期5万円、5年定期5万円+α(金利上昇等)

【問い合わせ先】新潟県福祉保健部こども家庭課(電話025・280・5214)

人生の最終段階、そろそろ考えてみませんか

現在、日本人の平均寿命は男性81・09歳、女性87・14歳(厚生労働省「令和5年簡易生命表」)になりました。

ですが、加齢や病気に伴い、長期の療養生活を送る方も増えてきています。

▼最期の迎え方も時代によって変化しています

現在のような病院に入院して最期を迎えるというスタイルが一般化したのは、1970年代以降の話です。それ以前は、自宅の畳の上で家族に見守られながら最期を迎えるのが一般的でした。



上越地域人生会議協議会

しかし、現在は様々な介護サービスや在宅医療の制度が整備され、「延命治療はしない」「自宅で家族と過ごしたい」など、自分の最期の迎え方の希望を事前に伝えておくことが重要です。

▼「人生会議」してみませんか
自分が望む医療や介護を信頼できる人、医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有することを「人生会議」や「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」といいます。

上越地域では医療や福祉の関係者、大学、行政からなる上越地域人生の最終段階における医療・ケア協議会において、「人生会議」の普及・啓発を進めています。



【問い合わせ】健康福祉環境部医薬予防課(電話025・5224・6134)

展示会「スゲ細工保存会のあゆみ」開催

新潟県では、県内各地域の主体的な地域づくりを後押しするため「新潟県地域づくりサポートチーム」を通じて、地域が実現したいビジョンを形にする取組を支援しています。この取組の一環として、上越地域の地域資源であるスゲ細工を制作するスゲ細工



【戌】

のこし隊と協力し、スゲ細工の歴史と作品を多くの人から知ってもらうためにイベントを開催します。

【日時】3月1日(土)～9日(日)
午前10時～午後6時

【会場】フルサットアプス(上越妙高駅西口フルサット内)
上越市大和5-1-1

【主催】スゲ細工のこし隊
【入場】無料
【内容】スゲ細工とパネルの展示
スゲ細工に関する映像上映
スゲ細工の制作実演
【その他】平日については、作品及びパネル展示のみで無人となる可能性があります。

【問い合わせ先】上越地域振興局企画振興部(025・526・9326)